

## 平成16年度予算及び事業計画決まる

### —西淀川・鶴見新図書館平成17年竣工、 住吉図書館建替え計画推進、新たに東成図書館建替えにも着手—

大阪市の平成16年度予算が3月市会で成立しました。このうち図書館関係の予算及び事業の概要は次のとおりです。

まず、地域図書館の建替え関係では、平成14年度に着工し建設中の西淀川・鶴見図書館については、平成17年当初に竣工する予定です。また、住吉図書館を含む(仮称)住吉区複合施設については、昨年度公開設計競技により優れた建築計画のアイデアを募集しましたが、今年1月末に最優秀作品が決定しました。これを受けて、平成17年度の着工を目指して実施設計に着手することになりました。さらに、東成図書館の建替えについても、基本設計に着手することとなりました。

次に、市史編纂事業については、今年2月に新修大阪市史史料編第1巻「考古資料編」を刊行しましたが、引き続き今年度は「第2巻古代・中世編I」を刊行することとなりました。

今年度も、行財政改革計画に沿って図書館改革を進めるとともに、創意工夫をこらして効果的な予算の執行に心掛け、図書館サービスの拡充に努めて参ります。



▲ (仮称) 西淀川区複合施設建設工事写真

#### ニュース

- ・インターネットや多機能OMLISで  
図書館行事への参加申込み受付 2P
- ・住吉区複合施設建築計画決定 2P
- ・ボランティアグループ紹介 3P
- 大阪市史編纂所だより 3P
- 中央図書館周辺散策 4P

#### シリーズ図書館めぐり

- ・中央図書館2階 5P
- 障害者用蔵書検索システム開始 6P
- 地域図書館の開館時間延長 6P
- 図書館利用者講座
- ・携帯電話で返却期限の延長 7P
- イベントコーナー 8P

## インターネットや多機能OMLISからの 図書館行事の参加申込み受付開始

子ども会・演奏会や「本のバザール」等の大阪市立図書館の行事のなかで事前の申込みが必要な行事については、平成16年度より図書館ホームページからでもお申込みいただけるサービスを開始します。

なお、往復はがきやお電話等での参加申込みも従前通りお受けします。

図書館ホームページのお知らせ画面からの各図書館の行事案内より申込みフォームが表示されますので、お名前・住所・メールアドレス等を入力して送信してください。そうしますと、受付番号が表示されます。先着順の場合は、その受付番号を当日の受付でお申出いただき、抽選の場合には当落結果をメールで通知します。

お申込者の個人情報は暗号化を図り、行事終了後には削除する等セキュリティ管理に努めますので、どうぞご活用ください。

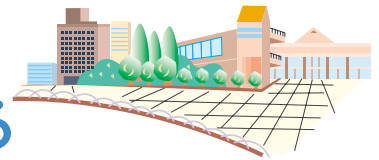


大阪市の図書館ホームページ

<http://www.oml.city.osaka.jp>



## 新住吉図書館設計決まる



(仮称)住吉区複合施設の建設については、平成15年7月に建築計画案や公園のアイディアを広く求める公開設計競技により進めてまいりましたが、51作品の応募があり、その中から(株)昭和設計の作品が最優秀作品に選ばれました。



本案は、区役所・水道局サービスステーション、区民センター、図書館の三施設を「街道広場」で相互につながりをもたせ、かつ周囲の公園と一体感のある計画が高く評価されたものであります。

図書館棟は、現公園の西北に位置し、2階建てで、図書館を1階に配置し、2階には区民センターの諸室を、また区民センターの大ホールなどは、2階通路により結ばれています。

今後さらに図書館内部のレイアウト等細部を詰め実施設計に入り、17年度着工をめざします。



## ボランティアグループ紹介

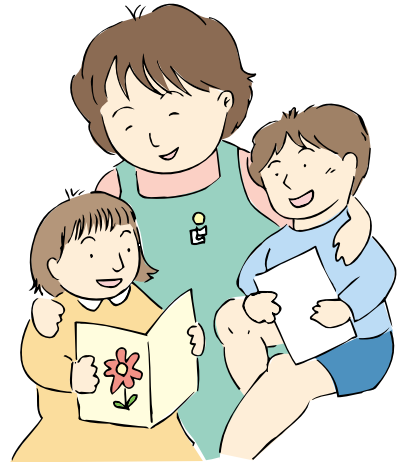
### 「絵本の会 なにわ」

浪速区内の保育所(10ヶ所)、幼稚園(2園)で“絵本のよみきかせ”の活動をしています。平成13年の秋より始め、毎月第1木曜日に例会をもち、参加するメンバーやプログラム内容の検討、新しい絵本・パネルシアター、手遊びを紹介するなど情報交換の場になっています。

たくさんのおもちゃの前では、そのすばらしさを伝えることができない絵本があります。そこで試みた取り組みは、子ども2人とメンバー1人で一緒に絵本を読みます。もちろん、子どもたちが選んだ絵本です。最初は神妙に聞いていますが、2回目は絵本について、あれこれおしゃべりしながら、3回目は子どもたちが、読んで聞かせてくれます。時には、声を合わせることもあるのです。

絵本の世界に入り、大好きなものを共有する時間は子どもたちと手作りの作業なのです。絵本が宝石のように、キラキラ輝きだすのです。少しずつ増やしていきたいと思います。

(絵本の会 なにわ 上田道代 記)



山本 淳子 画



## 大阪市史編纂所だより



### ●『新修大阪市史 史料編』第1巻「考古資料編」を刊行

市史編纂所では、大阪市では唯一・最初の「考古辞典」とも言うべき『新修大阪市史 史料編』(全22巻)の第1巻「考古資料編」(A5判、約800頁)を刊行しました。

昭和54年から市制100周年記念事業の一環として編纂した『新修大阪市史』は、古代から今日までの大阪市の歴史を政治・経済・文化・社会などあらゆる分野において明らかにしようとするものです。平成8年3月に「本文編」全10巻の刊行を終え、その後、本文編の記述を裏付け、補完する「史料編」(全22巻)の準備に取り組み、今回、その第1巻

として「考古資料編」を刊行しました。

「考古資料編」は、大阪市内の考古学の成果について旧石器時代から近世までの時代ごとに、遺跡ごとに写真(280点)、図(374枚)などを使って、わかりやすく解説・紹介しています。

大阪市立中央図書館ほか市内23の地域図書館で閲覧していただくことができます。

なお、頒布価格6,900円(税込)で発売元の(株)ぎょうせい(06-6352-2271)へ直接申し込まれるか、市内の主要書店でも取扱っています。





## 中央図書館周辺散策

## “兼葭堂て誰？”



地下鉄西長堀の7号出口をあがると南側に自転車駐輪場があります。木村兼葭堂の石碑と銘板があるのに気づかれると思います(下 写真参照)。兼葭堂とはどんな人だったのでしょうか。図書館とも少しばかり関係があります。

木村兼葭堂(元文5年生～享和2年没 1736-1802)は、江戸時代では大坂屈指の博物の収集家で、この北堀江に住んでいました。大阪市立西高校の南の付近です。木村兼葭堂の生業は酒造業でしたが、若年のころから、学芸・詩文・絵画・煎茶等に親しみ、書籍や珍奇なものの収集を行いました。そのコレクションは各地に知れ渡り、博覧強記\*1

であった兼葭堂の知遇\*2を得るために多方面の人々が兼葭堂を訪れ、交流を深めようとしていました。また、兼葭堂も各地に赴いて有識者と交流しました。応接者は大名から庶民にいたるまで幅の広いものでした。交流のあった人は「兼葭堂日記」に記されていますが、麻田剛立(天文学者)・伊藤若冲(画家)・大槻玄沢(蘭学者)・大田南畝(戯作者\*3)・小石元俊(医師)・司馬江漢(画家)・谷文晁(画家)・橋本宗吉(蘭学者)、岡田米山人(文人)・清水六兵衛(陶芸家)など、各界著名人が名を連ねています。兼葭堂の邸宅は、情報交換の場であり、知識吸収の場であり、いわば私設図書館的な役割を果たしていました。

大阪市立中央図書館は昭和36年(1961)11月1日、現在地に開館しましたが、市民に開かれた図書館として親しまれ、この近くに住んでいた若き日の司馬遼太郎も利用者の一人でした。手狭になったため、平成8年(1996)7月2日に新館に建替えられ、日本最大級の公立図書館として現在にいたっていますが、兼葭堂ゆ

かりの地に近接して、大阪市立中央図書館が建てられているのも、歴史的なえにしが感じられます。兼葭堂も喜んでいるのではないのでしょうか。今後とも、市民に広く情報提供する開かれた図書館として活動していきたいと館員一同念じています。

- \*1 広く古今東西の本をみて物事をよく記憶し知識が豊富なこと
- \*2 人柄や知識を認められた知人として厚い待遇を受けること
- \*3 たわむれ的に小説等を書く人



「上方」146号(1943)表紙転載



## ようこそ中央図書館へ④

— 中央図書館は、地方自治体では最大規模の図書館です —



今回は、中央図書館「2階」を紹介します。

このフロアーには自然科学、技術産業、人文科学、社会科学のコーナーがあり、これらの図書約17万冊のほか、雑誌、新聞(業界紙)があります。ビジネス書(仕事に必要な資料)と、人権を考える本は専用コーナーを設けています。また、コンピュータ端末多機能OMLISからは、蔵書検索のほか新聞・白書・判例体系等のCD-ROMの閲覧や、大阪府立図書館の蔵書検索もできます。

### 自然科学 コーナー

一般的な医学、数学、物理学、化学、天文学、地学、生物学に関する図書があります。

### 技術産業 コーナー

インターネットを始めとしたパソコン関係、土木、建築、機械工学、農業、商業、交通、園芸、飼育関係の図書があります。JIS規格は2階カウンターにお申し出ください。

### 人文科学 コーナー

哲学、心理学、宗教、歴史、伝記、地理、国内外のガイドブックを各種とりそろえています。

### 社会科学 コーナー

政治、法律、経済、年金や介護・福祉、民族学等の図書と、有価証券報告書や判例体系のCD-ROMがあります。

### 雑誌新聞 コーナー

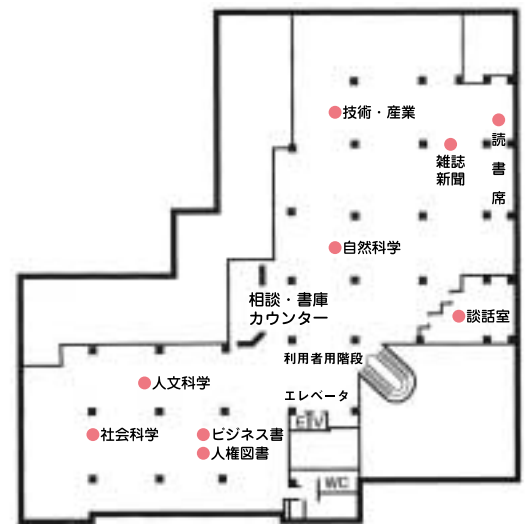
自然科学、技術産業、人文科学、社会科学に関する専門雑誌や一般誌1,200タイトル、新聞は業界紙を主に約50紙があります。

### 読書席

図書館資料を使っでの調べもの、読書などにお使いください。150席を用意していますが、特に夏休みなど宿題やレポート提出時期の土・日曜日には込み合いますので、混雑時には開館時間前から1階正面玄関前で、整理券を発行しています。

### 談話室

グループ学習や、お持込のノートパソコンを使って図書館資料をご利用される場合にお使いください。壁面の9席につきましては、整理券を発行していますので、2階カウンターにお申し出ください。



2階配架図

2階の特色は他のフロアーに比べて多くの資料を配架しているところです。これらの資料をもとに、皆様のお調べもののお手伝いをします。病気や法律相談などお答えできないこともありますが、図書館でご提供できる資料を駆使して本の紹介や、雑誌記事等を案内させていただきます。お気軽にカウンターの職員にお尋ねください。

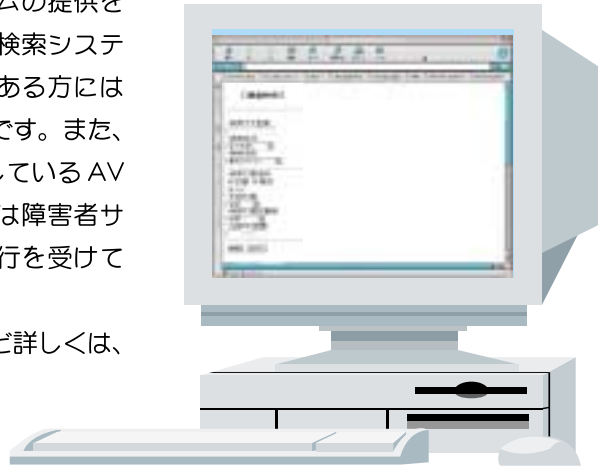
## 障害者用蔵書検索システムの提供開始

大阪市立図書館の障害者サービス登録をされている方を対象に、従来のパソコン通信に近い予約機能などを利用いただける蔵書検索システムの提供を開始します。現在インターネット上でご利用いただいている蔵書検索システムは、音声ブラウザでうまく読み上げができず、特に視覚障害のある方には使いづらいというご指摘を受けバリアフリー版として改良したものです。また、このシステムでは録音図書のように、障害のある方の利用を想定しているAV資料は、予約ができるように設定しています。ご利用に当たっては障害者サービス登録とインターネット利用のパスワードと暗号カードの発行を受けていただく必要があります。

すでにお持ちの方はそのままご利用いただけます。開始の時期など詳しくは、担当までお問い合わせください。

障害者サービスについてのお問い合わせは

電話 06-6539-3304 FAX 06-6539-3335



昨年6月10日から地域図書館全館で実施しました開館時間の延長(火曜日～金曜日:午前10時～午後7時 土曜日・日曜日11月3日:午前10時～午後5時)、及び第2・第4火曜日の開館は、地域の皆様に好評を得ています。「これまで買い物の合間のギリギリの時間に図書館に行っていたが、今は余裕ができ、ゆっくりと本を選ぶことができるようになった。」「予約のメールを受けても当日に取りに行けてとても便利になった。」「午後7時まで開いているので、ちょっとした調べものをするのに大変助かった。」などの声がカウンターに寄せられています。



◀カウンター

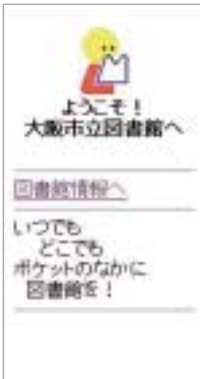


閲覧室 ▶

地域図書館の午後5時～7時までの時間帯の平均利用率は全体の約20%で、開館時間全体の1/5を占めています。まだまだ、図書館の夜間開館をご存知ない市民の皆様も多いと思いますが、これからは日が暮れるのが遅くなり、特に春は心地よい季節となりますので、地域の情報センターとしてせいぜいご利用ください。

## 図書館利用者講座

# 携帯電話で、いつでもどこでも 返却期限の延長

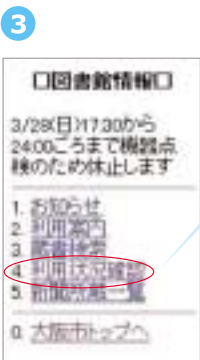


今回の講座では、携帯電話での、資料の返却期限延長の仕方について紹介します。

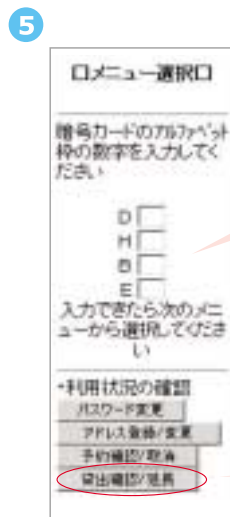
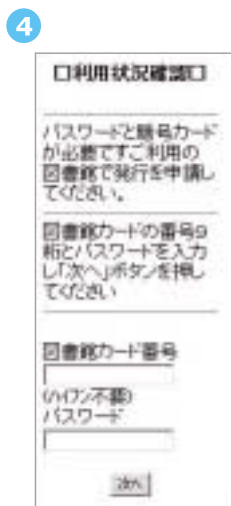
- ①パスワードと暗号カードが必要ですので、図書館カードを登録された図書館で発行を申し込んでください。
- ②携帯電話用のホームページにアクセスし、【図書館情報へ】を選択します。

\*各対応機種ごとの URL は次のとおりです。

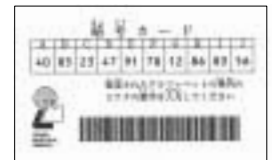
i モード 対応機種	www.oml.city.osaka.jp/i/
Vodafone live! 対応機種	www.oml.city.osaka.jp/j/
E z w e b 対応機種	www.oml.city.osaka.jp/ez/



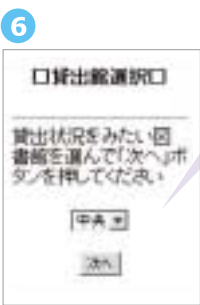
選択



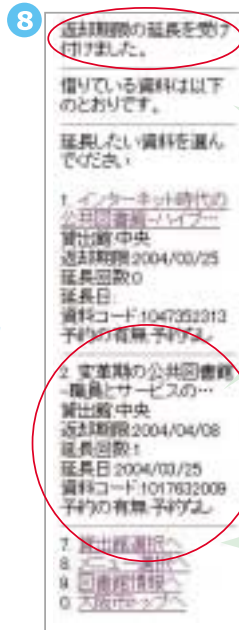
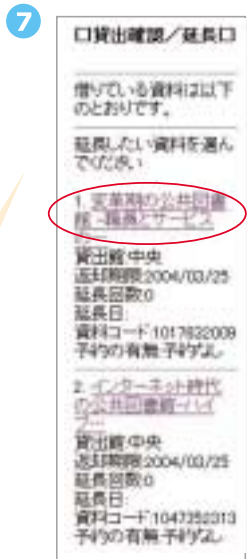
表示されている枠に該当する暗号カードの数字を入力します



選択



▼で、入力した図書館カードでお借りになっている館名一覧がでます



返却日の近い資料が先に表示されるので、延長すると順番が変わります

即時に延長され返却日も修正されます

同じカードで別の館でお借りの資料を延長する場合は【7. 貸出館選択へ】

- \* 複数件ある場合は 1 件ずつ処理してください
- \* 延長できない資料は選択できないようになっています
- ・ 予約のあるもの
- ・ 既に延長したのもの
- ・ ビデオ、CD 等



# イベントコーナー



## ■上期の主な予定 [平成16年4月～11月]

図書館での今年度上期の主な開催予定のイベント等は次のとおりです。  
日程など詳細は、大阪市広報、インターネットの図書館ホームページ、ポスター、パンフレットなどでお知らせします。

・中央図書館	4月24日(土)	子ども読書の日記念事業
	5月～	幼児期図書ボランティア講座
	5月24日(月)～6月6日(日)	蔵書点検により休館
	6月12日(土)	あべ弘士さんと早川篤さんの対談 「動物・ヒト・絵本」(仮題)
	7月3・10・17・24日(土)	連続講座「なにわの出版 ～大阪からの情報発信Part2～」
	9月～	高齢者図書ボランティア講座
	10月23日(土)～11月14日(日)	第7回図書館フェスティバル
・地域図書館	4月24日(土)	子ども読書の日記念事業

市内23の地域図書館でも、毎月さまざまなイベントを開催しています。  
※詳しくは、各館の図書館報やお知らせをご覧ください。

## ■お知らせコーナー

### ◆蔵書点検のための休館 (中央図書館)

中央図書館では、年に1回、所蔵図書を点検するため、5月24日(月)から6月6日(日)までの間、休館させていただきます。期間中、ご不便をおかけしますがよろしくご協力をお願いします。市内23の地域図書館は平常どおり開館していますのでご利用ください。



### ◆「こどものほんだな 2004」

大阪市立図書館が「子ども読書の日」記念事業の一環として、昨年刊行された図書の中から子どもに薦めたい図書を「こどものほんだな2004」として冊子にまとめました。ご希望の方は、大阪市の各図書館のカウンターで配布しています。(4月23日(金)から配布、中央図書館は4月24(土)から配布)

